

中学校版「SOSの出し方指導プラン」学年・学年ブロック集会

- 1 ねらい 不安や悩みを解決するために、自分の不安や悩みに合わせて、誰かに相談していこうという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート 掲示資料 専門の先生との事前打ち合わせ
- 3 展開

学習活動（10分） ○：留意点 点線：評価 ☆：振り返りの子供の意識	
1	各クラスの学活で出た「どんな人なら相談できそうか」の意見を発表する。（3分） ・自分の考えや振り返りを発表し合い、いろいろな考えに触れる。 ○司会進行は、学級委員が行う。 ○授業で使用したワークシートを生徒に返却しておく。 ○事前にどのような内容が出たか、学級委員と担任で確認し、掲示しておく。 ☆自分たちのクラスで出たこと以外でも、相談しやすい人がいることが分かった。
2	専門の先生等からの話を聞き、学習のまとめをする。（4分） ・専門の先生等から話を聞く。【校長、教頭、養護教諭、学校医、SC、等】 ○生徒に話す内容は、以下の点等について触れてもらうよう、専門の先生等に事前に伝えておく。 ・迷いや悩みが続くと、身体的に影響が出てきてしまうこと。 ・我慢していると学校に行きたくなくなってしまうたり、自分を傷つけたりしてしまうこと。 ・学校を休んだり自分を傷つけてたりしてしまうと、一時的には迷いや悩みが解消したような気持ちになること。 ・後で自分を責めることになり、自分を否定してしまったりして迷いや悩みは続いていくこと。 ・いろいろなものを見たり、聞いたり、嗅いだりして、五感を使うことで心をリラックスさせることで、気持ちを切り替えたり、違う見方を考えついたりすること。 ・劣等感をもちやすい時期であり、自己評価を厳しくしてしまう傾向があること。 ・人の意見に反発したり、自分で決定したくなる成長期にすること。 ・相談する人を何人か考えておいて、内容によって相談相手を選択できるとよいこと。 ○誰に相談するかを考えてもらったが、他にも色々な相談窓口があること、相談するつながりをたくさん知って、上手に活用してほしいことを伝える。→24時間SOSダイヤル等
3	振り返りをする。（3分） ・SOSの出し方に関する学習のまとめをする。 ○学年主任から、以下の点等について触れ、学習の振り返りができるようにする。 ・言葉で気持ちを伝えるのは難しいが、そうすることで自分の気持ちを見つめ直せる。 ・見つめ直せることで、これからどうしていきたいかにつながりやすい。 ・1回の相談で解決しようとせず、何回か、何人かに相談することも大切。 ☆相談するのは難しいけど、相談してみようと思った。 ☆相手に分かってもらえなくても、何回か練習するつもりで相談してみようと思う。